

特集  
ダイセルグループの挑戦  
～メディカル・ヘルスケア分野への進出～



**DAICEL TODAY**

株主の皆様へ

第151期 中間

2016年4月1日～2016年9月30日

株式会社 **ダイセル**

証券コード: 4202

## 第151期中間

売上高 **2,098**億円  
(前年同期比7.4%減)

営業利益 **306**億円  
(前年同期比3.2%減)

経常利益 **295**億円  
(前年同期比9.7%減)

親会社株主に  
帰属する  
四半期純利益 **191**億円  
(前年同期比10.7%減)

## 第151期通期見通し

売上高 **4,250**億円  
(前期比5.5%減)

営業利益 **565**億円  
(前期比12.2%減)

経常利益 **555**億円  
(前期比15.1%減)

親会社株主に  
帰属する  
当期純利益 **360**億円  
(前期比10.7%減)

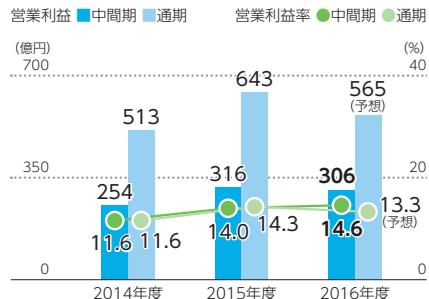
### 中間決算ハイライト

売上高  
**2,098**億円  
前年同期比  
7.4%減



営業利益  
**306**億円  
前年同期比  
3.2%減

営業利益率  
**14.6%**  
前年同期比  
0.6ポイント増





株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
 ダイセルグループの第151期(2016年度)中間期の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

2016年12月

代表取締役社長 **札場 操**

**Q** 2016年度中間期の決算概況を教えてください。

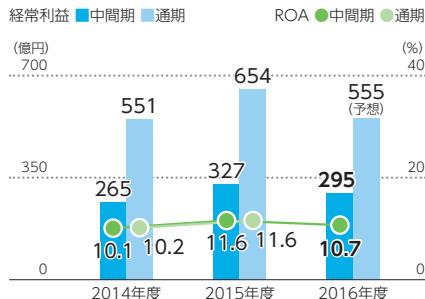
**A** 当中間期の世界経済は、欧米や日本で緩やかな景気の回復が続きましたが、中国では景気の減速がみられました。

このような環境の中、当社グループでは、エンジニアリングプラスチックや自動車エアバッグ用インフレーターなどの販売数量増加や、継続したコストダウンなどに取り組んできましたが、前年同期比で約17円円高となった為替の影響を大きく受け、それが営業利益段階で59億円の減収要因となりました。

その結果、当中間期の業績は売上高2,098億2百万円(前年同期比7.4%減)、営業利益306億6百万円(同3.2%減)、経常利益295億16百万円(同9.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益190億59百万円(同10.7%減)と、前年同期と比較して減収減益という結果になりました。期初に発表した業績予想に対しては、営業利益のみ予想値を上回る結果となりました。

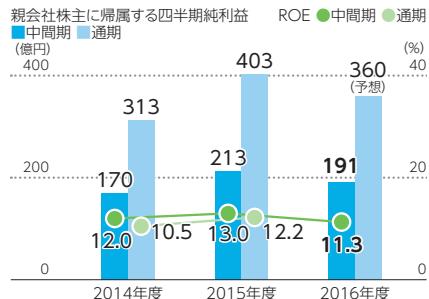
**経常利益**  
**295**億円  
 前年同期比  
 9.7%減

**ROA**  
**10.7**%  
 前年同期比  
 0.9ポイント減



**親会社株主に帰属する四半期純利益**  
**191**億円  
 前年同期比  
 10.7%減

**ROE**  
**11.3**%  
 前年同期比  
 1.7ポイント減



## Q 通期の見通しについてお聞かせください。

**A** 通期の業績見通しにつきましては、当中間期までの業績動向と、下半期の為替、原燃料価格の前提見直しを踏まえ、売上高4,250億円、営業利益565億円、経常利益555億円、親会社株主に帰属する当期純利益360億円と、従来の予想を下方修正しています。

下半期も為替は円高で推移する前提としており、その影響を大きく受けての修正ですが、10月から稼動したたばこフィルター用トウの能力増強が寄与することや、各セグメントにおける拡販努力の継続などにより、当社グループ全体として、販売数量は前年度に比べ増加することを見込んでいます。

今後の世界経済は中国および新興国での景気減速が懸念され、決して楽観視できない状況が続くことが予測されますが、当社グループは、中期計画「3D-II」の基本戦略である、新規事業の創出、コア事業のさらなる成長、グローバルでの事業展開の拡大・強化、生産基盤の強化などを引き続き着実に遂行することで、事業基盤を盤石なものとし、来期からの次期中期計画「3D-III」へ繋げていきたいと考えています。

### 2016年度 通期業績見通し

(単位：億円)

	2015年度	2016年度	増減	増減率
売上高	4,499	<b>4,250</b>	<b>△249</b>	<b>△ 5.5%</b>
営業利益	643	<b>565</b>	<b>△ 78</b>	<b>△12.2%</b>
経常利益	654	<b>555</b>	<b>△ 99</b>	<b>△15.1%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	403	<b>360</b>	<b>△ 43</b>	<b>△10.7%</b>

## Q 新規事業の取り組みと進捗について教えてください。

**A** 当社グループは、長期ビジョン「Grand Vision 2020」で掲げる「世界に誇れる『ベストソリューション』実現企業」の達成に向け、「事業規模100億円の新規事業5ユニットの創出」を長期目標として掲げ、新規事業ユニットの創出に注力しています。

その最近の動きを中心にお話すると、まず、ターゲット領域の一つであるメディカル・ヘルスケア分野では、健康と美容に役立つ機能性食品素材「こんにやくセラミド」の製品開発・市場開拓を進めています。すでに機能性健康食品の通信販売が好評を博していますが、当社と北海道大学、北海道科学技術総合振興センターとの共同研究により「こんにやくセラミド」の成分が皮膚の過敏症やかゆみを低減するメカニズムが解明され、アトピー性皮膚炎や過敏症などの疾患予防機能にも期待が高まっています。

また、本年3月から販売を開始した速崩壊性賦形剤「SWELWICK」は、賦形剤と崩壊剤の機能を合わせ持ち、水なしでも飲めるサプリメント錠を実現する添加剤として注目を集めています。医薬品OD錠用の「GRANFILLER-D」も



2014年に販売を開始しており、今後も、顧客ニーズを的確に捉え、商材ラインナップの拡充を図っていきます。

エレクトロニクスもターゲット領域の一つです。当社では化学メーカーとしての強みを生かし、分子構造まで踏み込んだ様々な機能フィルムの開発に取り組んでいます。高硬度でありながら繰り返し屈曲が可能なフィルムは、フレキシブルディスプレイでの使用が期待されています。また、高精細ディスプレイでもギラツキを抑制できる防眩性フィルムは、光の映りこみも減るほか、指滑り性なども優れているため、スマートフォンなどのモバイル端末にも最適です。今後当社の機能フィルムが活躍する舞台は広がっていくと考えています。

こうした新規事業創出の取り組みを加速させるため、兵庫県姫路市の総合研究所と姫路技術本社を新サイト「イノベーション・パーク」に集約し、新たな執務棟「I-Cube」も建設します。2019年に創業100周年を迎える当社にとって、次の100年につながる新しい製品、新しい技術、新しい事業を創出するための中核施設としてまいります。

詳細は特集、トピックスをご覧ください。

## 用語解説

### 中期計画「3D-II」

ダイセルグループでは、2020年までに当社グループが目指す姿を示した長期ビジョン『Grand Vision 2020』で掲げる、「世界に誇れる『ベストソリューション』実現企業」達成に向け、『3D Step-up Plan』として、期間中に3回の中期計画を策定・遂行します。

当期が最終年度となる中期計画「3D-II」はその2ndステップとなり、前中期



## Q 株主還元について教えてください。

A 当社では、連結業績を反映した配当と、より強固な収益基盤を確立するための内部留保の充実を総合的に勘案した、バランスのとれた利益配分を基本方針としています。現在進行中の中期計画「3D-II」では、株主還元性向30%を目標にしています。

当中間期の配当につきましては、期初予想通り前年度同額の1株当たり13円とさせていただきます。年間配当につきましては同様に、1株当たり26円を予定しています。

当社では、自己株式の取得についても配当を補完する株主還元策として考えており、本年5月から6月にかけて、約40億円の自己株式取得を実施いたしました。また、5月に1,500万株（消却前発行済株式総数の約4%）の自己株式消却も実施いたしました。

今後も企業価値向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 株主還元の状況

中間配当	1株につき13円(前年度配当と同額)
期末配当予想	1株につき13円
年間配当予想	1株につき26円(前年度配当と同額)

計画「3D-I」で設計・挑戦してきた取り組みを展開・飛躍させ、最終ステップである「3D-III」へ導く重要な期間となります。基本戦略として、「新規事業の創出」、「コア事業のさらなる強化」、「グローバルでの事業展開の拡大・強化」、「コスト競争力の強化」、「ビジネスパートナーとの連携強化」、「戦略的M&Aの活用」、「基盤の強化」に取り組んでいます。

## セグメント別事業概況

売上高  
構成比

20.7%

17.4%

営業利益  
構成比

31.2%

15.2%

### セルロース事業部門

#### 主要製品

- 酢酸セルロース
- たばこフィルター用アセテート・トウ
- 水溶性高分子



#### 事業概況

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途は堅調に推移しましたが、その他の用途の減少や、為替の影響などにより、売上高は減少しました。たばこフィルター用トウは、世界的に需給が緩んでいる中、主要顧客との関係強化や新規顧客開拓により、販売数量はほぼ前年同期並みになったものの、為替の影響などにより、売上高は減少しました。

### 有機合成事業部門

#### 主要製品

- 酢酸および有機合成品
- 有機機能品
- 光学異性体分離カラム



#### 事業概況

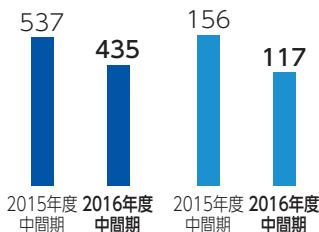
酢酸や合成品は、販売数量が増加したものの、為替の影響、市況や原油価格低下の販売価格への影響などにより、売上高は減少しました。機能品は、電子材料分野やコスメ・ヘルスケア分野などで一部製品の需要が堅調に推移し、売上高は増加しました。キラル分離事業は、カラムの販売が増加したものの、為替の影響などにより、売上高は減少しました。

#### 売上高

435億円

前年同期比 19.1%減

■ 売上高 (億円) ■ 営業利益 (億円)



#### 営業利益

117億円

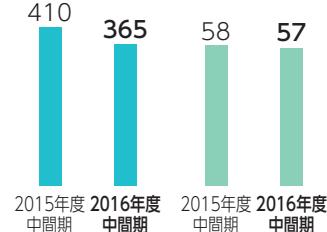
前年同期比 25.2%減

#### 売上高

365億円

前年同期比 10.8%減

■ 売上高 (億円) ■ 営業利益 (億円)



#### 営業利益

57億円

前年同期比 1.3%減

■セルロース事業部門 ■有機合成事業部門 ■合成樹脂事業部門 ■火工品事業部門 ■その他部門

※営業利益構成比は、調整額を除いて算出しております。

36.4%

24.1%

1.4%

30.2%

22.6%

0.8%

## 合成樹脂事業部門

### 主要製品

- エンジニアリングプラスチック
- 樹脂コンパウンド製品
- 機能性樹脂
- 合成樹脂成形加工品



### 事業概況

エンジニアリングプラスチック事業は、中国や東南アジアでの自動車生産の好調などにより、販売数量は増加したものの、為替の影響や原燃料価格低下の販売価格への影響などにより、売上高は減少しました。樹脂コンパウンド事業は、販売数量は増加したものの、為替の影響や原油価格低下の販売価格への影響などにより、売上高は減少しました。樹脂加工事業は、成形容器などの販売が減少し、売上高は微減となりました。

### 売上高

763億円

前年同期比 8.6%減



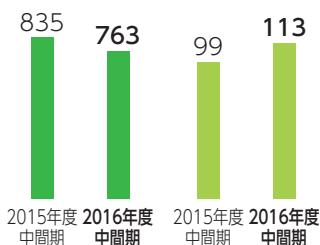
### 営業利益

113億円

前年同期比 13.8%増



■売上高(億円) ■営業利益(億円)



## 火工品事業部門

### 主要製品

- 自動車エアバッグ用インフレーター
- 防衛関連製品



### 事業概況

自動車安全部品事業は、為替の影響があったものの、自動車エアバッグ用インフレータの販売数量増加などにより、売上高は増加しました。特機事業は、一部防衛関連製品の防衛省による調達数量減少により、売上高は減少しました。

### 売上高

506億円

前年同期比 11.5%増



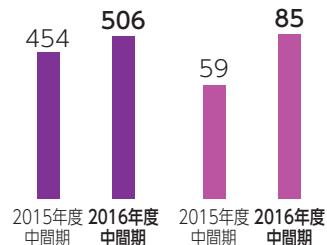
### 営業利益

85億円

前年同期比 43.5%増



■売上高(億円) ■営業利益(億円)



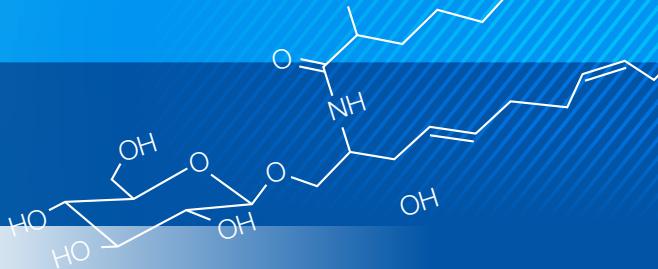
その他部門 売上高 29億円(前年同期比0.6%減)

営業利益 3億円(前年同期は営業損失0.7億円)

# ダイセルグループの挑戦

～メディカル・ヘルスケア分野への進出～

健康と美容に役立つ機能性食品素材



# 「こんにやくセラミド」

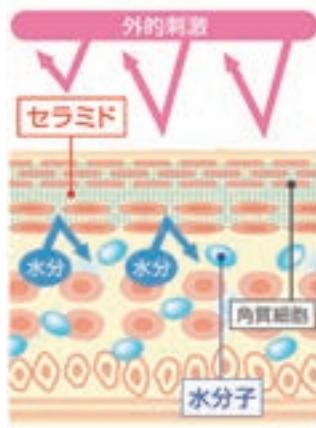
## 「こんにやくセラミド」とは

セラミドは、サプリメントや化粧品にも使用されており肌の重要な保湿成分として知られています。セラミドは、角層（皮膚の最も外側の層）の細胞と細胞の間を埋める脂質成分で、内側からの水分の蒸発を防ぐ働きや乾燥やホコリなどから身を守るバリア機能もちます。セラミドが肌にあることで水分を含んだみずみずしさが保たれるのです。しかし、肌のセラミドは加齢とともに減少することが知られ、肌の乾燥の原因となります。1990年後半に、こんにやく芋にセラミドが多く含まれていることがわかり、当社ではこれを効率的に抽出し、食品・サプリメントの原料として「こんにやくセラミド」を販売しています。これまでの研究でも「こんにやくセラミド」を摂取することで、肌の水分蒸散量（肌から蒸発して失われる水分量）が減少し、肌のバリア機能が改善することが報告されています。

### ■皮膚中でのセラミドの役割

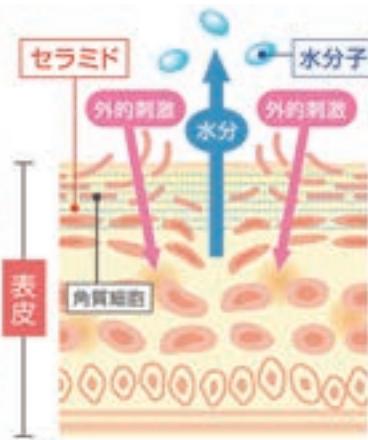
#### 【セラミドたっぷりのお肌】

セラミドが角質細胞をしっかりとつないで、水分をキープ。



#### 【セラミド不足のお肌】

角質細胞に隙間ができ、必要な水分まで蒸発。



ダイセルグループは、長期ビジョン【Grand Vision 2020】で掲げる新事業ユニット創出の一つとして、メディカル・ヘルスケア領域において、事業部門、コーポレート部門の連携による製品開発、市場開拓を進めています。本特集では、メディカル・ヘルスケア部門の製品から、健康と美容に役立つ機能性食品素材「こんにやくセラミド」を紹介します。

## 「こんにやくセラミド」の かゆみ低減メカニズムを解明

また、当社は北海道大学大学院先端生命科学研究院と公益財団法人北海道科学技術総合振興センターとの共同研究により、「こんにやくセラミド」の活性成分であるグルコシルセラミドが皮膚のかゆみ神経の過敏症の改善に有効であるというメカニズムを解明しました。この結果、「こんにやくセラミド」が、先進国で問題となっているアトピー性皮膚疾患や皮膚感染症による慢性的な肌荒れ状態が引き起こすかゆみ神経の過敏症の予防に有用であることが期待されます。

## 「こんにやくセラミド」を使った 製品を始めとした健康食品を販売

当社は、「こんにやくセラミド」を始めとして、自社の機能性素材を使用した健康食品の通信販売を行っています。健康は何よりの宝物です。健康維持には規則正しい生活習慣やバランスのとれた食事、適度な運動が大切ですが、すべてを満たすことは容易ではありません。

ダイセルは素材にこだわったサプリメントで、皆様の健康維持のお手伝いをいたします。ぜひオンラインショップをご覧ください。

オンラインショップ

<http://www.daicel-shop.jp>

ダイセルヘルスケア通販

検索

これからもダイセルでは、「こんにやくセラミド」の新しい知見とともに、人々の美容と健康をサポートする製品開発を進めていきます。

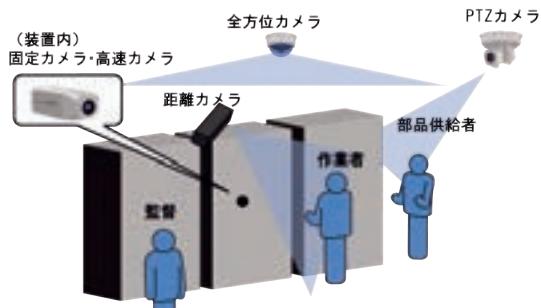


## 生産現場の異常や逸脱動作を検知し 品質・生産性向上に貢献する 画像解析システムを導入

当社は、製造現場における作業員の逸脱動作やライン設備の動作不具合などの予兆を検出し、品質改善や生産性向上へと役立てる製造現場画像解析システムを播磨工場の自動車エアバッグ用インフレータ製造ラインに導入しました。

近年、さまざまな業界で発生する品質不具合問題などをきっかけに、不具合の原因を特定し対策を講じるための製造実績データを蓄積・管理する重要性が再認識されるとともに、その蓄積したデータを利用して製品のトレーサビリティをより確実なものにすることが求められています。

本システムは、播磨工場での16ヶ月にわたる実証実験など当社の協力のもと、株式会社日立製作所が開発したものです。作業現場に取り付けられた定点



定点カメラの作業現場内配置例



左) センシング技術により現場作業員の関節位置を測定  
右) 通常画像と差分分析し、設備や材料の異常を検知

カメラから、設備、材料の配置および動作情報をリアルタイムに把握し、製造実行管理システムと連動することで、製造工程管理・品質保証の精度をロット単位から製品単位へと向上させていくものです。

また、画像データを解析することで、不具合の早期発見や品質の安定化、作業効率の改善に活用できるだけでなく、不具合品が発生した際に原因の生産工程を特定し最終製品を追跡できるなど、マルチトレーサビリティを実現することができます。

当社は、播磨工場を起点に海外主要6工場にも画像解析システムの導入を進め、グローバルでの統合管理システムの構築を目指します。



I-Cube完成予想図(2017年4月:竣工、業務開始予定)

## TOPICS

# 02

## 当社研究・技術開発部門を イノベーション・パークに集約し 技術融合のためのI-Cubeを建設

当社は、新規事業創出のための研究開発・量産化検討をさらに加速させることを目的に、兵庫県姫路市にある「総合研究所」と「姫路技術本社」を新サイト「イノベーション・パーク」に集約します。これに伴い、新たな研究執務棟「I-Cube(アイ・キューブ)」を建設します。

「I-Cube」は、研究開発、生産技術、エンジニアリング、環境・安全などの技術スタッフがフリーアドレスの大執務室に集まり、営業や支援などの社内関連部門をはじめ、社外のお客様などと活発なコミュニ

ケーション、協業のできる施設となります。

技術スタッフのワークスタイルの変革をもたらすことで、新規商材開発から量産技術の確立、事業化の加速を図り、新規事業創出を推進してまいります。

### お知らせ

次号第151期「株主の皆様へ」(2017年6月下旬発行)において、今回ご紹介いたしました「I-Cube」見学のご案内をさせていただきます。

## ポリプラスチックス株式会社 食品接触用途向け ジュラコン®POM新グレードを開発

当社グループのポリプラスチックス株式会社は、欧州の食品接触用途・水廻り用途規制に適合するジュラコン® POM (ポリアセタール) の新グレードを開発し、2016年4月から射出成形用グレード2種、押出し成形用グレード1種を販売開始しています。

ジュラコン® POMはバランスの取れた機械特性を有し、耐クリープ性、耐疲労性、耐薬品性、寸法安

定性に優れるため、従来から日本・米国・アジアで食品接触用途、水廻り用途に活用されています。

欧州の規制に適合する今回の新グレードは、従来グレードと同等以上の良好な機械特性・成形性を有しており、ワールドワイドに市場展開を進めてまいります。

### POMとは?

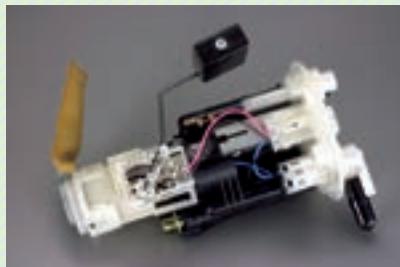
金属材料を代替する代表的なエンジニアリング・プラスチック(高機能樹脂)の一種です。

その優れた機械特性、疲労特性などを生かし、主に歯車やねじ、軸受けなどの機械要素部品として、自動車部品、OA機器、家電製品などに使われ、軽量化に貢献しています。

こんなところで  
使われています



レーザープリンタ・駆動部ギヤ



自動車燃料ポンプ部品

# CSR

## 環境と安全に 配慮した製品と技術



ダイセルグループは環境と安全に配慮した製品と技術を開発し、地球環境に優しい製品と安全をお客様に提供しています。

### 地球に優しい プラスチック素材 酢酸セルロース

当社の主力製品である酢酸セルロースは、パルプやリントーといった天然素材のセルロース（植物繊維素）を原料とし、微生物によって水とCO<sub>2</sub>に分解される、人と地球に優しいバイオプラスチックです。

酢酸セルロースは、耐薬品性、耐熱性、難燃性に優れることから、液晶パネル用の光学フィルム、たばこ用フィルター、アセテート繊維、写真フィルム、プラスチック、分離膜などさまざまな分野で活躍しています。

また、使用する原料には、計画的に植林された、持続性のある森林から得られる木材パルプを用いるなど、原料調達段階からもCO<sub>2</sub>排出削減に配慮しています。

当社は今後も地球に優しい酢酸セルロース製品の用途拡大に取り組み、地球環境保護に貢献できる製品づくりに努めてまいります。

### 天然素材の緩衝材 ノバールECO

当社グループのDMノバフォーム株式会社が開発した「ノバールECO」は、バイオマス原料であるでんぷんを主成分とした天然素材の緩衝材です。主成分が天然素材でできているため、土の中に入れるとバクテリアなどによって完全に分解されて土へと還ります。石油に依存しないため、CO<sub>2</sub>削減にも貢献する環境に優しい製品として注目されています。



天然素材から生産されたノバールECO

CSR活動の詳細につきましては、  
当社CSR情報サイトをご参照願います。

<http://www.daicel.com/csr/>

ダイセル CSR 検索

より詳細なデータにつきましては、当社IR情報サイトをご参照願います。

<http://www.daicel.com/ir/irlibrary.html> ダイセル IR 検索

		2014年度		2015年度		2016年度
		第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
売上高	(億円)	2,187	4,438	2,265	4,499	<b>2,098</b>
営業利益	(億円)	254	513	316	643	<b>306</b>
営業利益率(ROS)	(%)	11.6	11.6	14.0	14.3	<b>14.6</b>
経常利益	(億円)	265	551	327	654	<b>295</b>
親会社株主に帰属する (四半期)当期純利益	(億円)	170	313	213	403	<b>191</b>
総資産利益率(ROA)	(%)	10.1	10.2	11.6	11.6	<b>10.7</b>
自己資本利益率(ROE)	(%)	12.0	10.5	13.0	12.2	<b>11.3</b>
自己資本比率	(%)	54.7	57.3	58.9	60.2	<b>62.1</b>
総資産	(億円)	5,374	5,653	5,653	5,602	<b>5,419</b>
純資産	(億円)	3,225	3,562	3,629	3,687	<b>3,623</b>
1株当たり(四半期)当期純利益	(円)	48.27	88.95	60.76	115.02	<b>54.91</b>
1株当たり純資産額	(円)	836.26	922.71	946.95	966.36	<b>971.57</b>
1株当たり配当金	(円)	8	13	13	13	<b>13</b>
株主還元性向	(%)	—	23.6	—	32.5	—

## 用語解説

### 自己資本利益率(ROE:Return On Equity)

自己資本(株主資本)に対する親会社株主に帰属する当期純利益の割合。株主の投下した資本に対し、企業がどれだけ利益を上げられるのかを判断するのに用いられる指標で、企業の財務分析をするうえで重要視される財務指標の一つ。

ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本、またはROE=EPS(1株当たり当期純利益)÷BPS(1株当たり純資産額)

### 株主還元性向

配当金と自己株式取得の金額の合計額が親会社株主に帰属する当期純利益に占める割合を示す。親会社株主に帰属する当期純利益のうち株主に配分した金額の割合を示す財務指標。総配分性向、株主総還元率ともいう。

株主還元性向=(配当総額+自己株式取得総額)÷親会社株主に帰属する当期純利益

## 会社概要 (2016年9月30日現在)

商号 株式会社ダイセル  
 英文商号 Daicel Corporation  
 大阪本社 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1  
 (グランフロント大阪 タワーB)  
 Tel. 06-7639-7171  
 東京本社 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1  
 (JR品川イーストビル)  
 Tel. 03-6711-8111  
 設立 1919年9月8日  
 資本金 362億7,544万89円  
 従業員数 連結:11,161名 単独:2,270名  
 役員

### 取締役

代表取締役社長 札幌 操\*  
 代表取締役 福田 眞澄\*  
 取締役 小河 義美\*  
 取締役 西村 久雄\*  
 取締役 後藤 昇  
 取締役 岡田 明重  
 取締役 近藤 忠夫  
 取締役 下崎千代子

\*執行役員兼務者

### 監査役

常勤監査役 榎田 宏安  
 常勤監査役 井口 友二  
 監査役 岡本 罔衛  
 監査役 高野 利雄  
 監査役 市田 龍

### 執行役員

社長執行役員 札幌 操  
 専務執行役員 福田 眞澄  
 専務執行役員 宗 正幸  
 常務執行役員 小河 義美  
 常務執行役員 西村 久雄  
 常務執行役員 安藤 隆彦  
 常務執行役員 Dieter Heckmann  
 執行役員 白子 直秀  
 執行役員 児島 秀景  
 執行役員 野中 哲昌  
 執行役員 阪本 聡  
 執行役員 今中 久典  
 執行役員 杉本幸太郎  
 執行役員 榊 康裕  
 執行役員 吉野 幸男  
 執行役員 上野 貴史  
 執行役員 辻 康雄  
 執行役員 高部 昭久  
 執行役員 八木 幹夫  
 執行役員 川口 尚孝  
 執行役員 藤田 眞司  
 執行役員 丸山 浩一  
 執行役員 林 仁志

## 株式情報 (2016年9月30日現在)

### 株式の状況

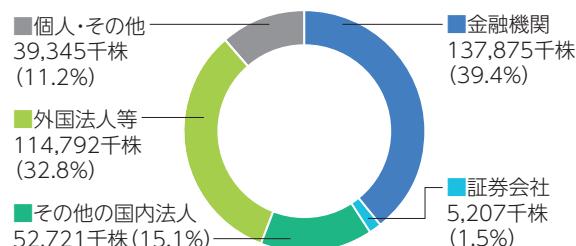
発行可能株式総数 1,450,000,000株  
 発行済株式の総数 349,942,682株  
 株主数 17,617名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	29,520	8.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,914	6.04
日本生命保険相互会社	17,403	5.02
富士フィルムホールディングス株式会社	17,271	4.98
トヨタ自動車株式会社	15,000	4.33
株式会社三井住友銀行	7,096	2.04
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,503	1.87
全国共済農業協同組合連合会	5,459	1.57
ダイセル持株会	5,351	1.54
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	4,290	1.23

(注) 出資比率は、自己株式を控除して算出し、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。

### 所有者別株式分布状況



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

# 株主ひろば

## 株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日より翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 6月中
- 基準日** 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所** 〒540-8639  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先  
(電話照会先)** 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- 単元株式数** 100株
- 上場証券取引所** 東京
- 公告方法** 電子公告  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。なお、電子公告は当社のホームページに掲載して行います。

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

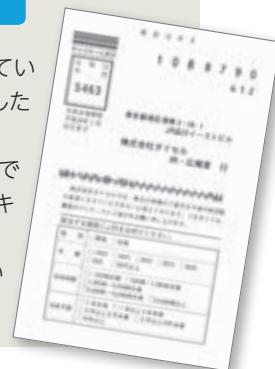
### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

お知らせ

## アンケートご協力をお願い ～株主様の声をお聞かせください～

今後のIR活動の参考とさせていただきますため、株主様を対象としたアンケートを実施いたします。ご多用中のところ誠にお手数ではございますが、同封のハガキにてご回答ください。ご協力のほど、よろしくお願いたします。



## ホームページの紹介

当社ホームページでは事業内容やサービスのご説明、最新ニュース、IR関連など当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供いたしております。



<http://www.daicel.com/>

ダイセル

検索

**DAICEL**  
The Best Solution for You



UD FONT

FSC®認証紙と環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。